

クルクマ
Curcuma arismatifolia
 (ショウガ科)

熱帯アジア原産の球根(根茎)切り花で、シャロームが代表品種。花卉に見えるのは葉が変形し、着色した苞葉で、苞葉の中に貧弱な花がある。花は苞葉より先に褐変し、枯死する。観賞価値には影響しないが、鮮度の判定の指標になる。苞葉が成長することはない。水あげは良い。日持ち終了の主な症状は、苞葉の褐変と、花穂の曲がりである。

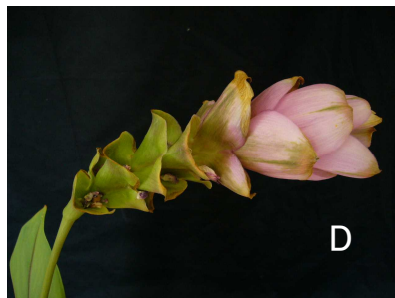
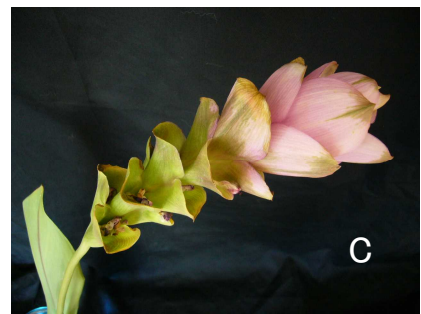
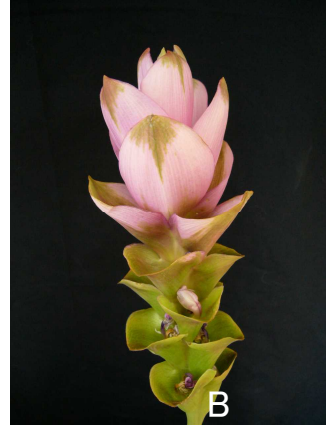
1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
苞葉の褐変	A: 褐変の発生がない B: 先端だけがわずかに褐変する C: 周辺部分がわずかに褐変する D: 10%程度が褐変する	苞葉の先端部分が最初から褐色の品種があるので、褐変の判定は注意。
花穂の曲がり	A: 曲がりがなく垂直 B: わずかに曲がる C: 斜めに曲がる D: 横向きに曲がる	
苞葉の中の小花の枯死	A: 枯死がない B: 基部の苞葉の小花だけが枯死 C: ほぼ全小花が枯死	
その他		

2) 留意点

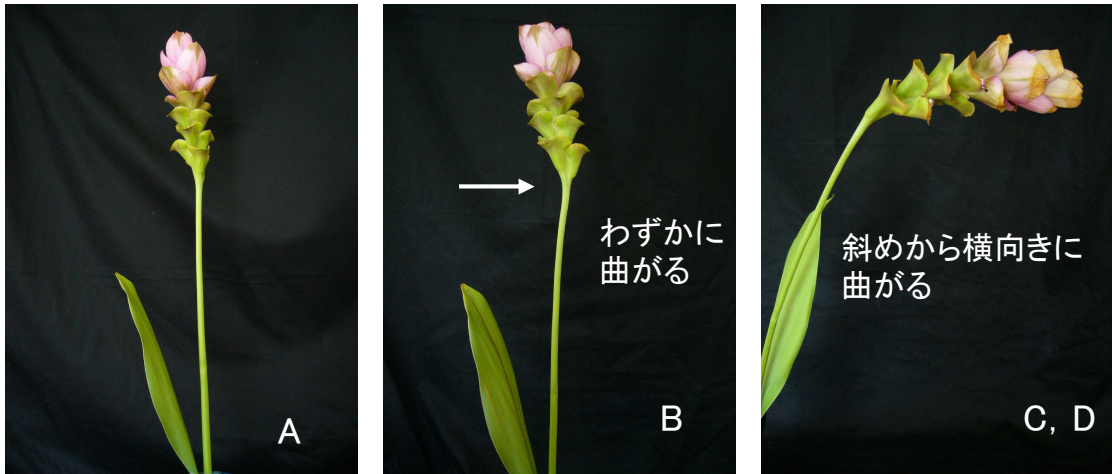
苞葉の中の花が健全で、枯死していない切り花を用いる。
 10℃以下の冷蔵庫で保管すると低温障害を受ける。

3) 開花



4) チェック事項

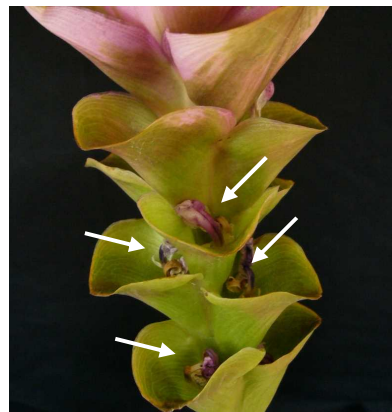
花穂の曲がり



苞葉の褐変



苞葉の間の小花の枯死



着色した苞葉を除去



着色した苞葉と小花

